

各位

2019年5月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：岩本
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（平成31年3月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比115.6%と前年を上回ったが、一般団体は同69.6%と前年を下回り、団体旅行合計で同91.7%と前年を下回った。企画旅行については前年比95.8%と前年を下回り、個人旅行については同105.2%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比97.0%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比104.5%と前年を上回ったが、一般団体は同78.2%と前年を下回り、団体旅行合計で同87.9%と前年を下回った。企画旅行については前年比104.5%と前年を上回り、個人旅行については同103.1%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比100.9%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比120.8%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の3月の総取扱額は前年比101.6%となり、前年を上回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、学生団体は、修学旅行においてアジアやミクロネシア方面が増加した一方でアメリカやオセアニア方面が減少したことにより取扱額は減少したが、修学旅行外においては各種研修旅行などの取扱人数が増加し、前年比115.6%と前年を上回った。一般団体は前年開催の「平昌2018パラリンピック冬季競技大会」などの影響を受けたことにより、同69.6%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比91.7%と前年を下回った。

海外企画旅行については、前年比95.8%と前年を下回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、アメリカやアジア方面などが好調に推移したが、オセアニアや台湾、台湾方面および一部商品のクラブツーリズム商品への一体化の影響があるヨーロッパ方面などが前年から減少した。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは東地中海（トルコ、エジプト）、中欧、北欧（オーロラ）、英国が好調に推移している。クルーズでもヨーロッパ方面が堅調であった。一方で、アジア、中国、北米、カナダ、ハワイ、オセアニア方面は低迷が続いている。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比97.0%と前年を下回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、海外エージェントの取扱が増加したほか、個人旅行の宿泊商品やレールパスが好調に推移し、前年比120.8%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、学生団体は、修学旅行の取扱人数が増加したほか、各種研修旅行やスポーツ関連大会などの取扱人数の増加により、前年比104.5%と前年を上回った。一般団体は、職場旅行や経済団体などの大会・会議の取扱人数が増加した一方で、企業系コンベンションの取扱人数の減少や前年の大型の受託事業などの影響により、同78.2%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比87.9%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比104.5%と前年を上回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、東海や関西、九州方面などが低調であったが、北海道や東京方面をなどが好調に推移し、メイト全体をけん引した。クラブツーリズムは、北海道ふっこう割商品や桜商品、首都圏出発日帰りバス商品などが好調に推移し、販売を伸ばすことができた。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比100.9%と前年を上回った。

以上